

情報連絡員報告・6月分

製造業、非製造業ともに「売上高」と「収益状況」が大幅に悪化

<東京都中央会>

6月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業ともに売上高と収益状況DI(前年同月比)値が大幅に悪化した。前月は若干好転した、非製造業の業界の景況は大幅(約20ポイント)に悪化した。「業界の声」からは『労務が確保できず、非常に不安定な状態』、『6月下旬より鉄筋工の不足状態が深刻に』、『運転手の確保が難しい』等、前月に続き、人手不足を懸念する報告がよせられた。

製造業64人、非製造業86人、計150人の集計

業界の声

特記事項欄より

「繊維・同製品」

- ・梅雨に入っても晴れ間が多いためか、帽子の売れ行きが好調。昨年対比で140～160%で推移している。(帽子製造業)
- ・季節的要因と消費減で衣服品の売上が低迷。受託加工を行う組合員企業の収益はない状態。外国人研修生受入は入管・労基署の圧力で受入自体を中止し、自主廃業を選択する企業が多い。

(織物製外衣・シャツ製造業)

「化学・ゴム」

- ・低迷を続けていた建築外装関係がようやく伸び始めた。これで不況部門は木工塗料のみとなったが、相変わらず売上が伸びない。原油価格は引き続き上

昇中で、コストに跳ね返るのは時間の問題。(塗料製造業)

「輸送用機器」

- ・トラックの国内需要は、排ガス規制特需の反動から大幅に減少しているが、世界経済と円安のおかげで輸出が好調。売上は大きく減少することなく、推移している。(自動車部品製造業)

「その他製造業」

- ・好転の兆しが見えるが、単価が上らずに苦戦している。その結果、労務が確保できず、非常に不安定な状態にある。夏場にかけて稼働率上昇の傾向にあるが、不安定な要素はぬぐいきれない。

(ガス圧接業)

「小売業」

夏場に向けて売上増を期待しているが、

思うようには伸びていない。前年より4%減少。大豆をはじめ、原材料高騰で先行き不安。業界大手間の市場争いで廉売が激化している中、原材料高騰分を小売価格に転嫁できないのが現状。

(豆腐小売業)

- ・6月は最需要期であるにもかかわらず、オートバイが売れないと販売店は嘆いている。ユーザーからは駐車場不足との声が聞かれており、販売店の死活問題となっている。(自動二輪車小売業)

「建設業」

- ・6月下旬より鉄筋工の不足状態が深刻になった。(鉄筋加工組立業)

「運送業」

- ・荷動きに低調化の傾向が見られる。燃料費アップや運転手の確保が難しいこ

となどの経営上の問題が深刻化している。組合員の倒産や脱退が多くなっている。(貨物自動車運送業)

<要望事項欄より>

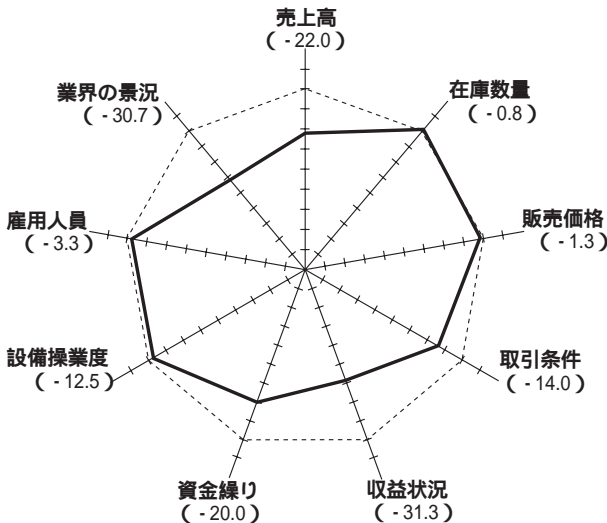
- *大手住宅メーカー・マンションデベロッパーは材料高騰による価格転嫁に応じようとしない。こうした「下請いじめ」を排除してもらいたい。

(建設用金属製品製造業)

- *倫理道德のかけらもない経営者、食品提供者としての使命感のない、利益追求のみの業者に対して関係官庁はもっと厳しく対処してほしい。(豆腐小売業)

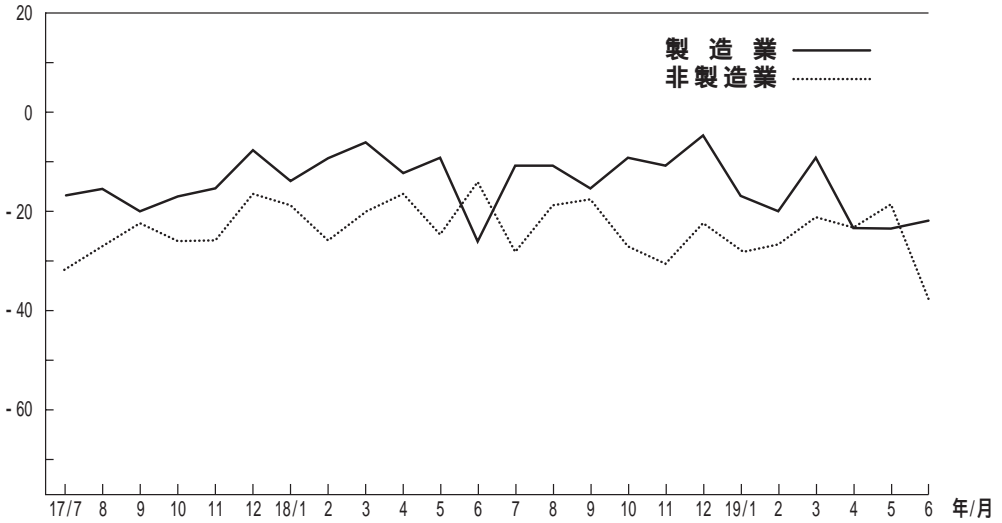
- *行政は自動二輪車駐車場設置を呼びかけてほしい。(自動二輪車小売業)

6月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)

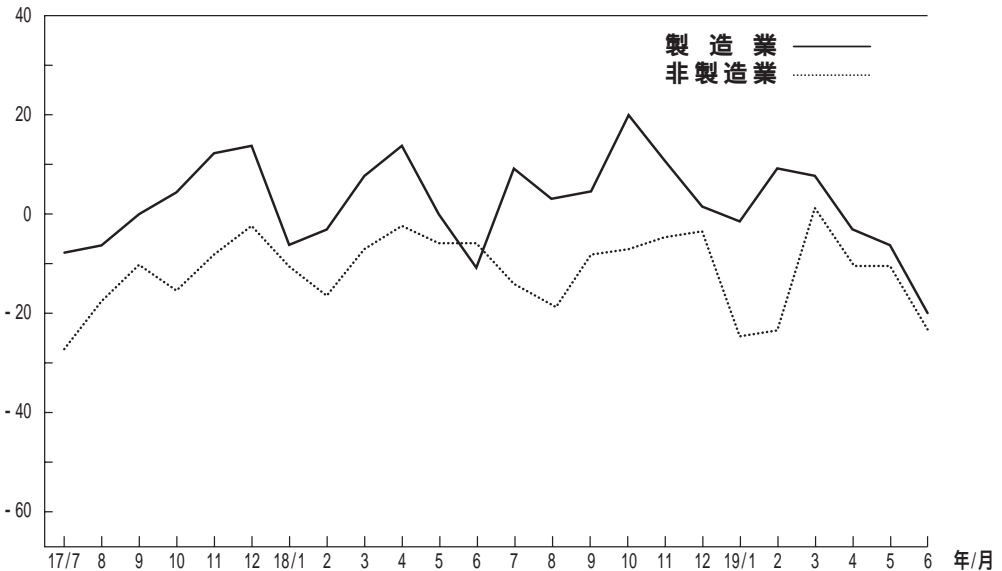


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H17.7～H19.6）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H17.7～H19.6）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。